

科学的根拠(EBM)に基づいた咬合の構築

—順次誘導咬合の臨床—

神奈川県横浜市神奈川区開業 武井順治

歯科医院を訪れる患者さんは「むし歯」「歯周病」「歯並び」や「歯の喪失」、あるいは「顎関節の痛み」など様々な問題を抱えている。我々はこれらを個別の問題として対応しているが、実際には個別ではなく、いずれも咬合の不調和、あるいは、咬合の崩壊に起因したものでお互いに関連しあった問題と考えられる。

歯科医療は咬合の構築あるいは再構成を目的とした医療であり、咬合はその根幹に位置するものである。一般医学と同様、近年では科学的根拠に基づいた歯科医療(evidence based dentistry)が求められるようになってきている。しかしながら、我々の日常臨床は歯科医師と歯科技工士の経験と勘に頼った構築(experience-based reconstruction)となっているのが現状ではないだろうか。

患者さんの信頼を得て咬合治療を行い、さらに長期に渡って健康な口腔状態を維持するためには、咬合治療を科学的根拠に基づいたものとしなければならない。その為には、患者さんの持っている様々な条件を個別にデータ化し、分析して治療計画を立案する必要がある。

生体と調和した咬合構築(咬合再構成)のためには歯科医師、歯科技工士がお互いの知識と技術を共有し、科学的根拠に基づきデザインされた歯科医療システムを構築していく必要がある。

そこで今回は、生理的咬合の基礎と順次誘導咬合、歯科医と技工士が連携して治療した症例を基にしてお話ししたい。

<略歴>

1978年 日本歯科大学卒業

1978年 横浜市立大学医学部病院 口腔外科学教室入局

1980年 横浜市神奈川区泉町にて開業

1992年 横浜市神奈川区沢渡に移転開業

2009年 学位取得(神奈川歯科大学 成長発達歯科学講座 矯正学分野)

<所属学会>

国際先進学際歯科学会アジア部会(iAAID Asia) : 会員(理事)

日本顎咬合学会 : 評議員、咬み合わせ指導医

米国歯周病学会(AAP) : インターナショナルメンバー

日本歯周病学会 : 会員

日本臨床歯周病学会 : 会員

横浜顎口腔系機能研究会(Y S 2) : 会員(代表)